

## 地域密着型サービス評価の自己評価票(3F)

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	しゃらく理念を基に3階では、「散歩や買い物に行った時には元気に挨拶します」を掲げ実行している。挨拶する事により会話が增え、地域の方々と交流をもっている。	引き続き実行し、地域の方々と話し交流を持って地域の一員となっている。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を見やすい位置に置き、常に意識しながらケアに取り組んでいる。	左記に同様に、引き続き継続していく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	各フロア、目線に入りやすい所に掲げている。いつでも読める様にし、利用者・職員共に実行している。家人には入所時に説明もしており、理解を得られている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の公園や買い物などに行く際、道ばたで元気に挨拶し、近所の方々と交流を持っている。また、施設内に犬の散歩へ来る方もいて、犬に会いに行ったり、飼い主の方と会話をしたりしている。夏祭りでは隣近所を呼んで参加していただいている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のゴミ拾い等あれば、それに参加。敬老会・自治会からの便りがあつた場合も、それに参加している。しゃらくとしては、年に1回、夏祭りを行っており、地域の方々にも参加を呼びかけている。年々、参加される地域の方々が增えている。	左記に同様に、引き続き継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>当事業所では体験入所を実施している。体験入所時は自宅で過ごしているのと同様に支援し、事業所での様子や身体的状態などをチェックし気付いた点を含め家人に報告・連携をとっている。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。また、体験入所だけではなく、地域の人々が困った事など、相談に来れる様な事業所作りをしていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価を頂いた後、全体で会議を開き、フロア内でもミーティングを設け改善に向け努めている。ミーティング内容はノートに記録してある。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>管理者、ケアマネ等は取り組んでいる。しかし私達職員は運営推進会議に関して直接関わっていない。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続し、。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者、ケアマネ等は取り組んでいる。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していき、夏祭りなどをきっかけに現場職員も参加していけるようにする。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者や相談員は制度を理解し必要な方に対しての支援を行っている。現場職員の理解度は低かったが、事業所全体の会議で学ぶ機会を作っており、徐々に理解度が高まっている。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>「虐待はしない事が当然」との共通理解があり、日々支援している。高齢者虐待防止関連法については書面にてまとめてあり、いつでも確認・見直しができるようにしている。また、社会的な事件が起きると、職員会議やフロア会議で再確認し合っている。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている		左記に同様に、引き続き継続していく。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		左記に同様に、引き続き継続していく。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている		左記に同様に、引き続き継続していく。また、面会になかなか来る事の出来ない家族に対して、面会の間隔が空く時には利用者の特変の有無に関わらず最近の様子を電話報告しコミュニケーションをとっていく。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		左記に同様に、引き続き継続していく。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている		左記に同様に、引き続き継続していく。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている		左記に同様に、引き続き継続していく。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている		左記に同様に、引き続き継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の案内が回覧板として回ってくる。その他にも個人に合った研修を計画し機会を作っている。</p>	<p>左記に同様で、引き続き継続していく。興味のある研修や、フロアの代表として行く機会が増え、職員も積極的に取り組んでいる。学んできた事を全体の会議で報告し合っている。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>事業所の勤務年数に寄って個々に違いはあるが、それぞれの現段階に合った研修などの参加により、個々にケアの質の向上に努め、事業所全体のサービスの質の向上に生かしている。</p>	<p>左記・上記に同様で、引き続き継続していく。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>年に1, 2回程、親睦会を開催。また勤務中は確実な休憩時間の確保は難しいが、ベランダなどに日差しよけの parasol をたて、一息つくスペースの確保はしている。</p>	<p>左記に同様で、引き続き継続していく。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>年1回の昇給、年2回の賞与があり、毎回職員は自分の意見や取り組みを用紙に記入している。その用紙と普段の取り組みを見て個々に評価して頂いている。</p>	<p>左記に同様で、引き続き継続していく。</p>
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>日常生活の中でコミュニケーションをとり個々に関わりながら不安を読み取ったり相談にのっている。また、発言するのが難しい方には職員から話しかけるようにしている。</p>	<p>左記に同様で、引き続き継続していく。職員が気づき継続が必要なケアの場合、毎日の申し送りの中で伝え会い、重要な事だと赤チェックにて3日間送り続けている。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>管理者・ケアマネが最初の相談を受け、その後、現場職員に情報がくる。利用当初は不安な事が多いため現場職員・管理者、家族の協力で本人の安定に努めている。また、常に面会時や電話連絡等で最近の様子や職員が気づいた点などをお話している。そして生活記録にすべて記録し残している。</p>	<p>左記に同様で、引き続き継続していく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、相談員が面談を行い、その見極めをしている。その内容は現場職員に細かく申し送られ、情報を共有し対応している。	左記に同様に、引き続き継続していく。それに加え、スタッフ間での共通理解を統一させる為に現場職員全員参加のフロアミーティングを開く。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	デイサービスセンターも併設されているので、そこを利用して頂いたり、入所の際も「体験入所」というものがあるので、家人や本人と相談しながら支援している。体験入所を重ね、徐々に馴染める様配慮している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人より昔の話や経験を聞く事により、その方が生きてきた時間に少しでも共有できるようにしている。また、以前仕事にしていた事や趣味を教えて頂き、職員が学ぶ形となる事で本人の自信に繋がり活躍出来る環境を作っている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時には色々な事を話し、情報を共有、信頼関係を築き一緒に本人を支えられる様働きかけはしている。また、何か相談事が出来ると電話連絡して相談し決める事もある。	左記に同様に、引き続き継続していく。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人・家人がどの様な関係だったかは把握・理解はできている。一緒に外出なども予定したり、一時的に自宅へ外出・外泊したりと個別的に個々の家族関係を把握しながら支援している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の面会時には職員も同席させて頂き、色々な話をしている。また、自宅へ時々戻り過したり、近所の方とお話したりして関係を継続出来る様に支援している。馴染みの場所に外出し、本人の表情をみながらどの様な思い出があるのか聞いてコミュニケーションを図っている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	相性の良い悪いは把握できている。相性がたとえ悪くてもそこに職員が入っていく事で関わり合う事が出来る。	左記に同様に、引き続き継続していき、「相性が良いからいつも一緒、悪いから離す」ではなく、そこに職員というクッションが入る事で良い関係に持つて行けるという事を忘れず、支援していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設への移設時は様子を伺いに行く事がある。慣れるまでの相談も行っている。そうした中で、当事業所へ遊びに来てくださったり、夏祭りなどの行事にもゲスト参加を呼びかけている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の生活を見守っている中などから、情報を得られるような観察を職員同士行っている。そして、必要に応じて話し合う事により情報を収集している。また、職員は、ケアプラン担当の利用者から、より多くの希望・意向が読み取れるように責任を持って情報収集・発信している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所の際に家族から詳しく生活歴を聞く時間を設けさせて頂いている。また、入所後も以前はどのようにしていたのか、気になった事などは面会時等に家族から聞き、今の生活に活かせるように心掛けている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の申し送りを通し、職員全員が利用者一人ひとりの状態を把握し、1日の過ごし方を支援している。	左記に同様に、引き続き継続していく。外の天気が良いとドライブや散歩へ行き、広告を見て安い用品を買いに行ったりと一日の過ごし方にも変化はある。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者・家族の方々の意見や希望を大切に、それに加え、職員同士で気付いた事を元に作成している。利用者が、「今、何が困っているか」「何を必要としているか」アセスメントを行い、作成している。	左記に同様に、引き続き継続していく。家人との話し合いは面会時の少しの時間に限られる為、日々の申し送りの中で「面会時に伝えたい事」を職員間で送り続け把握し、得られた情報を基に介護計画書を作成している。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに見直している。また、身体状況の変化等あった場合、期限を待たずに再アセスメントを行い、作成している。	左記に同様に、引き続き継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	生活記録や温度板に毎日、その都度記録している。生活記録や申し送りノートを活用し情報を共有すると共にミーティングでの話し合いからケアの見直しを行っている。勤務前に必ず生活記録や申し送りノートを読むように心掛けている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	体験入所がある。在宅生活の中で家族の用事や主介護者の身体的状況などにおいて、ご利用して頂けるようになっている。また、入所者や家族の要望に応じて、在宅への一時帰宅や外泊も支援している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	近隣の小学校や幼稚園・保育所等のイベントがある時は見学へ行き、また当事業所にてイベントがあるときは招待している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	管理者、相談員が主となり行っている。他施設への移設時はフロアの職員からサマリー等の情報提供や事前の申し送りなどで連携を図る事はある。福祉用具の購入時は職員がご利用者と業者の間に入り購入する事が多い。	ボランティアの受け入れ等の準備は職員が行っている。
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	主に管理者及び相談員が行う事が多いが、地域包括支援センターとの協働は行っていない。	必要に応じて地域包括支援センターとの協働を検討する。
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	同系列である病院の協力のもと実施している。また、入所前から通っている馴染みの病院へ行く事も実施。介護士の目先からわからない事は、医師や看護師に質問・相談のできる関係を作っている。週に一回の訪問看護の相談・報告を行い、入所者の健康管理を行っている。	左記に同様に、引き続き継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症専門外来は必要に応じて受診している。また、担当医や専門外来先の相談員とは、状況説明や状態報告を電話でのやりとりで行える程の関係を保持している。外来受診の際にも、待ってられない場合には、個室に通して下さったり、専門医との受診の時間になったら連絡を下さるなど、協力的に対応を下さっている。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>週1回程の事業所の訪問看護を利用し、日常生活を送る上で些細な事や経過を報告・相談し健康管理に気を付けている。また、「訪看ノート」へ記録し見直し・経過がわかる様になっている。その他にも、協力病院へ直接電話し看護師に相談する事もある。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院した入所者がいた場合2日に1度位は病院へ行き状態確認、退院の予定等伺い、早期退院に向けて病院との連携をとっている。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>今までは、家人と管理者・相談員で医師からの話をもとに面談を重ねていた。それに加え、「意思確認書」を作成し現段階の家族の気持ちを把握している。ターニングポイント時に何度も重ねていき、終末期のあり方を明確にしていく事に努めている。現場の職員も一緒に把握し、方針を共有する。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>ケアスタッフ、管理者、相談員等で会議が行われ検討・準備が行われる。また、訪問看護が入ったり、往診が入ったり出来る様、支援している。「意思確認書」を用い、家族の意見なども聞きだしているが、現在、対象者がいない為、具体的な活動へは繋がっていない。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>退所時にはケアサマリーを用意し細かく記入する。別の所に移っても同様のケアが継続される様務めている。また、退所前には会議をして情報の共有に務めている。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	目上の方に対しての敬語や尊厳を生かした言葉掛けに努めている。記録には個人の名前を書くのではなくイニシャルで記録している。個人情報は所定の場所へ保管している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	何かをする前には、個々に合わせた会話で説明・対応をしている。また、選択肢を奪わず自己決定する力を大切に支援している。日々の生活の中で本人が思いを表せる環境作りに努めている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外に出たいと希望がある時には出来るだけ外出する。本人のペースに合わせてトイレも行っている。その日に希望に合った対応が出来る様に職員同士で話し合い、協力しあっている。	左記に同様に、引き続き継続していく。天気の良い日は職員から外出を促す事はあるが強制はしない。また、何か行動する度に言葉を掛け、納得・理解してから実行している。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	常に本人の身だしなみには気を付けている。日々の洋服も伺いながら選んだり、購入時も一緒に行っている。化粧をしたり、外出の際はおしゃれをして楽しんでいただいている。理容・美容室へは本人の希望に添って外出している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日や何かのイベントがある時は入所者と職員とで材料購入から一緒に出掛け、料理を作っている。皆でテーブルを囲み食べられ会話をしながら楽しい食事をしている。また、旬な食材も食し季節を味わう事も大切にして、時には外食を行っている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	買い物や外出先で本人に合わせて好きな物や必要な物を購入するのを支援している。	左記に同様に、引き続き継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表を用いながら、日々の排泄パターンを把握した上で介助を行い、個々に合わせた排泄の仕方、習慣を崩さない様にしている。夜間、オムツ等を使用している方も日中は綿パンツで過ごして頂ける様に努めている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に最低2回は入浴できるようにしている。曜日を自分で決めている方や自由気ままな方とそれぞれである。本人の訴え時はもちろん、状態や天候にて必要な言葉掛けを行っている。また、個人に合わせて入浴剤を使用したりしている。	左記に同様に、引き続き継続していく。入浴時は職員と一对一のケアになる為、色々な話しをしたり、歌を唄ったりして心身ともに気持ち良くなって頂ける様にしている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日頃の日課などを聞いた事を基に、その方らしい生活が継続出来る様支援している。昼夜逆転や不眠にならない様、日中に適度な運動をして心地よい疲れになる様に支援している。	左記に同様に、引き続き継続していく。出来るだけ入眠導入剤を避け、自然な生活の中で対応していく事にしている。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の趣味や昔の仕事からの役割を見つけ、最大限に発揮出来る様にこちらから言葉掛け・支援を行っている。	左記に同様に、引き続き継続していき、昔の生活歴をもっと知る事により楽しみや役割を増やしていけるようにしていく。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は主に職員が行っている。その際には必ず家人と相談の上行っている。また、本人の希望でいつでも使用できるようにし、使用する時には個人の力に応じ支払う所のみ行って頂いたり、一部言葉掛けをしながら支援している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ケアプランに取り入れて支援したり、自分で使う物はなるべく自分で購入しに行く様支援している。一人ひとりの意思を大切に、訴え時や、天候等考慮し希望を聞きながら、様々な所へ外出している。	左記に同様に、引き続き継続していく。外出先では色々な表情や行動がある。写真に残したり、個人のケアに有効な物を取り入れたりしている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に一回入所者、職員全員、家人を交えて遠出・外食している。個別に季節に応じての外出も支援している。十分な下見や準備を行い安全に楽しく外出ができる様に努めている。	左記に同様に、引き続き継続していく。家人と交流し、信頼関係を築くのにも有効である。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	本人自ら電話や手紙は難しいが職員が間に入りながら行う事がある。新聞を郵送する際に手紙にて一言添えたり、年賀状などは個々の力に応じて書いて頂いている。また、病院受診の報告は必ず電話連絡で、出来る限り当日中に行い、本人の様子も一緒に伝えている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	面会に来やすい様、笑顔や挨拶は基本としている。忙しそうにしているとゆっくり出来ないと思うのでバタバタしない様気をつけている。必要に応じて職員も間に入り会話が楽しめる様にしている。また、職員も積極的に家族と接しコミュニケーションをとって関係作りをしている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	どんな時に拘束が必要となるのかは周知されている。当事業所では拘束をしないというのがケアの大前提となっている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	私たちと同様の普通の生活をしている為、鍵をかける事には疑問を持つところであり、私達は鍵をかける事はしない。自由に自室と共通スペース、外へ行ける様になっている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	離設の可能性がある方、転倒の可能性がある方等、見守り・言葉掛けを行い、誰がどこで過ごしているか常に把握に努めている。その際、職員同士も情報共有できる様に声掛けし合っている。また、夜間も時間ごとの巡視の他にも各個人の状態により巡視を行っている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	危険物はなるべく入所者の手の届かない所に保管している。また、毎日『消毒管理表』『刃物チェック表』に、居室・共通スペースに物品がすべて揃っているか記録し保管している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	事故対応マニュアルのもと取り組んでいる。専門知識をもった方の講習などにも参加している。また、訪問看護の看護師に個人の状態を伝え特変時にも対応できる様に話し合っている。事故が起きてしまった時には『事故報告書』『ひやり・はっと報告書』を記入し原因・背景を見直し再発防止を皆で確認しあっている。	左記に同様に、引き続き継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年に1回～2回程、全員参加で専門知識をもった方を講習に招き実施している。また、不参加の職員にも伝えられる様にビデオに録画し見返りが出来る様に対応している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回程、総合訓練を行っている。また、夜間を想定した訓練も行い対応している。近所の居酒屋からは、何かあった時には店を避難場所として利用して良いと協力を得られている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	日々の生活の中で見えてきたリスクに対し職員同士で話し合い、管理者に報告している。職員が家人に直接話したり、管理者・ケアマネが家人と面談する場合もある。生活記録に、状態の変化・家族との話し合いを詳しく記録し、その都度、対応策を考え経過をみている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	週に一回のバイタル測定と医師の指示のある方は毎日施行している。また、入浴前や特変時にも測定し必要に応じて病院へ相談等行い対応している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋はコピーし、事務所に保管、原本は個々のカルテに挟みすぐに見返しが出来る。処方の変更になった際にはバイタルチェックや様子観察している。また、特変時には医師に相談したりと受診できる体制をとっている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	乳製品摂取・運動・腹部マッサージ・医師への相談等、個々の状態に合わせ支援している。また、下剤等処方になった時も本人の自力排便が可能になった際には内服薬の調整や中止を医師に相談しながら行っている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、個々の能力に応じ、歯磨き・うがいを実施している。また、必要な方は定期的に歯科受診し、スクレーピング等行うなど支援している。	左記に同様に、引き続き継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内老健の施設の栄養科から毎食配送がある。水分量は最低1000cc以上としているが、本人の状態に合わせ量を調整している。配送される食事以外、ご飯・味噌汁は必ず自分たちで用意し、特別なイベントがある時には相談しながら季節の物等を用意している。食事・水分量は記録している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染対策マニュアルがありすぐ手の届く所に保管してある。感染症の予防に努めているが、発生した場合にはマニュアル通りに実行すると共に病院とも連携をとっている。時期により発症リスクが高くなる物に対しては予防として消毒や漂白剤等使用し掃除を徹底している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日まな板・フキン・台フキン等漂白している。また、食器類も第2・4週を漂白の日として行いチェック表を作成している。冷蔵庫に入っている食材にも注意している。	左記に同様に、引き続き継続していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には花を飾っている。また、いつでも誰でも訪問できる様オープンな雰囲気が出る様心掛けている。また、家族会の協力にて駐車場の前の庭に花壇を作り、付近を通る方にも楽しんで頂ける様にしている。敷地内は緑が多く、犬の散歩や近所の子供たちが気軽に出入りし、散歩や遊ぶ事が出来る。	左記に同様に、引き続き継続していく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花などを飾ったりしている。その他にも、雛人形・鏡餅・節分・お月見の時のお供え等、行事の度にゆかりのあるものを飾っている。	左記に同様に、引き続き継続していく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入所者の状況に応じて、イスやテーブルの配置を、混乱の無い様考慮しながら、過ごしやすい様に工夫している。共有スペースにも目隠しを置き、独りで落ち着ける場所を確保。またテレビも3台置き活かし、各々の見方で鑑賞されている。	左記に同様に、引き続き継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅と同じ様な生活をして頂ける為、ご本人の馴染みのタンスや物などを自室へ置き生活を送っている。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>各居室・フロア共に換気は毎日行っている。室温にも注意しており、夏25℃、冬22℃に設定し把握しやすい様にエアコンのスイッチに提示してある。冬は乾燥に注意し加湿も行っている。エアコン使用時はマメに換気は心掛けている。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>車椅子もゆったり入れる様な居室の広さを確保。共有スペースにも手すりがあり、トイレ・脱衣所・風呂場等にも工夫がなされている。歩く時も、足元に物が置かれていないかなど、環境の整備を行っている。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>自力にて出来る事・少しの援助で出来る事・介助なしでは出来ない事など、一人ひとりの状態を普段の生活から読み取れる様に視点を置いている。色々な活動を本人のペースに合わせてながら行い、見極め、記録し、職員同士で話し合いながら明確にしていく。ご自分の力を信じ、活かし続けて頂ける様に支援・励ましを行っている。また、本人の訴えを優先に行い混乱を招かない様に努めている。見極める際にも失敗時に羞恥心のないよう個別的に支援している。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物の周りを散歩したり畑や花植えが出来る所がある。入所者の方々と一緒に畑から出来る物を収穫したり花を植えたりと活動している。アスファルトで舗装されている事で車椅子の方も庭や畑まで散歩に行きやすい。また、庭のテーブルで天気の良い日などはお茶会や食事をし、気分を変えて楽しむ事が出来ている。</p>	<p>左記に同様に、引き続き継続していく。</p>

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

2ユニットは年に一回家族と一緒に全体で外出することに取り組んでいる。面会とは別に、一緒に外出し過ごす事で一日の利用者の様子を知っていただくとともに、職員とも日頃の悩みや利用者を通しての会話をし密な関係作りをしている。また、行き先なども職員がなげかけ、ご利用者の意見を取り入れている。その為、皆で外出する為にも日頃から健康で元気に過ごしていただける様に支援している。